

まち わが故郷いそべ

Vol.49

発行：令和3年3月24日 編集：磯部地区まちづくり協議会・磯部コミュニティセンター

令和2年度は新型コロナウイルスによる影響で、磯部地区体育祭、敬老会、各地区夏まつり等が中止となり、現在でも地域活動、仕事や日常生活に多大な影響を及ぼしています。

今回のわが故郷いそべでは、いろいろな制約を受けながらも各種団体が取り組んできた1年間の活動を紹介します。



<磯部コミュニティセンターからのお知らせ>

新型コロナワクチン接種会場の決定に伴う 大ホールの使用中止について

国の施策により、4月より本コミュニティセンター大ホールを、新型コロナワクチンの接種会場として、1年間使用することが決まりました。

つきましては、区民の皆様への事業や各種生涯学習のための講座等に、支障をきたすこととなり、誠に申し訳ございませんがご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

- 期 間 令和3年4月1日より令和4年3月末日まで（土、日曜日を含め終日）
○会 場 磯部コミュニティセンター 大ホール

※大ホール以外の部屋については、通常どおりの開館となります。



いそべ英語の会



墨映会



らくらく3B体操



ヴォーチェ・ドルチェ・いそべ



スマイルママ ベビーマッサージ



磯部健康麻雀倶楽部



現代新舞踊 寿々波流 凰扇会



トールペイント



磯部絵手紙 こいこいの会



磯部フラワー会



ハンドベル教室



磯部高齢者健康教室
スティックリング



詩吟愛好会



キルト らぶり



健康体操



磯部地区空手同好会



いそべかるた教室



新体操クラブ maru RG (磯部)



生花 スイートピーの会



オカリナサークル磯部



ピラティス



卓球を楽しむ会

磯部コミセン講座の紹介

磯部コミセンでは昼夜を問わず幅広い講座が活発に行われています。

講座生はマスクを着用し密を避け、換気に注意し使用機材の消毒など細かな対策を取りながら今年も講座を継続してきました。

ハーバリウム作り体験

フラワーアレンジメント協会から2名の講師を招いて“ハーバリウム”的制作を体験しました。



ナチュラルリース作り体験

五十嵐みどりさんを講師に招いて“ナチュラルリース”的制作を体験しました。



寄せ植えコンテスト

「いそべ夏まつり」の中止のため、コミセンを会場に単独で実施しました。13の作品が出展され、コミセン来館者の投票で最優秀賞、優秀賞を決定しました。



園児との交流

毎年、安田幼保園、よつば保育園との交流を通して園児から“元気パワー”をもらっています。

毎年、春用、夏用の花を定植したプランタを贈呈しています。



年長組の園児がクリスマス会用の「大きな花鉢づくり（花の寄せ植え）」を行いました。



磯部フラワー会

磯部フラワー会は福井国体の“花いっぱい推進運動”に取り組んできた“磯部花いっぱい推進会”有志が中心となつて結成された会です。

本会では「人生100年時代」の到来にむけて“花づくり活動”を通して、“引きこもりとは無縁な元気でハツラツとしたシニア創り”に取り組んでいます

コロナ禍で活動が制限される中、“花との触れ合い”を楽しみに通気性の良い外作業を中心に相互感染防止に努めながら取り組んだ1年間の活動を紹介します。

磯部フラワー会は令和2年度坂井市ふるさとづくり大会において花づくりを中心に、交流の場を広げることで・「心身ともに健康な高齢者」づくりに寄与している。・地区各種団体の模範となって活動している。という理由で坂井市民運動実践団体表彰を受けました。

コミセン花壇の整備

「種まき→芽出し→育苗→植え付け」の作業を全て自分で行っています。コミセンでは玄関側（北側）のメイン花壇と裏庭側（南側）のサブ花壇に直か植えすると同時に

プランタにも植え付けて玄関先を飾っています。

コミセン花壇は春に咲く花を主とした春花壇と夏から秋に咲く花を主とした夏花壇として年2回植え替えます。



ガーデニング研修

本会では花の育成に限定せず、“花を活用した”研修や体験を開催しています。開催行事には会員だけでなく、地域で花に興味のある方達も参加しています。



磯部コミセン便り

※磯部コミセンは磯部コミュニティセンターの略称です。

Cafe

コミュニティセンター内のほっこりカフェでは、各種講座やつどいの家の皆さんからの季節を感じさせる作品が展示され、来館者の心を和ませほっと一息つける空間に一役買っています。



生け花 スイートピーの会



つどいの家



絵手紙 こいこいの会



クリスマス装飾

磯部地区区長会視察研修

令和2年10月10日(土)

今年は、「福井県年縞博物館」「若狭鰐街道 熊川宿」「エルガイアおおい」へ行ってきました。

7万年におよび水月湖に堆積したプランクトンや鉄分などの泥の地層を展示している『福井県年縞博物館』では、どんな時代を経て今日にいたったのか。また、約1kmにわたり奉行所や番所、お蔵屋敷など伝統的建造物が残っている『熊川宿』では、文化財保存の大切さを。さらに、エネルギーの未来を体感する『エルガイアおおい』では、今後将来に向けてエネルギーをどうすべきか。また未来がどのように変化しているのか。という過去、現在、未来を考えさせられました。

今回の視察研修では現代に比べて、その時代の昔の良さやわがまち磯部のよさを感じることができ、この視察研修で得たことを今後の地区まちづくりに生かしていきたいと思います。



福井県年縞博物館



◆熊川宿



エルガイアおおい▶



まち協からの

お知らせ

防災安全部会 感染リスクに対応した避難所開設訓練

9月26日(土) 参加者19名

坂井市安全対策課福澤さんを講師に招き、磯部小にある防災倉庫の備品確認と非常用発電機の運転操作訓練及び集水タンクからの送水訓練を行いました。

その後、コミュニティセンターに移動し、地震発生時の避難の大まかな流れや一人一人が取り組む防災について説明を受けました。また実際に防災器具（簡易ベッド・簡易トイレ・簡易テント等）を組立その使用方法について学びました。



防災倉庫備品確認



非常用発電機操作



集水タシクからの送水



簡易ベッド組立



簡易間仕切り組立



簡易トイレ組立



簡易テント組立



災害対策用
プライベートルーム

磯部コミセン便り

※磯部コミセンは磯部コミュニティセンターの略称です。

磯部地区区長会 市長へ要望書を提出

今年度は、宮下区長会長と前田議員、戸板議員、経石センター長の4名で、磯部地区住民の皆様から寄せられた声に基づいて、地域全体として通学路の安全対策等6項目と、各区(15地区)よりの44項目を坂井市に要望してきました。

より安全安心な磯部地区になるよう1つでも多くの要望が通ることをお願いしてきました。



6/22
月

市長に要望書を手渡す宮下区長会長と同行した(左から) 経石センター長、前田議員、戸板議員

団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題が話題となっています。益々、介護については難しい世の中になりますし、公助だけに頼るわけにもいきません。そんな現状の中、自分たちでできることは自分たちでという目標達成のために日々活動されている「つどいの家」に活動の補助として磯部地区区長会から寄付金を贈呈します。ご活用いただければ幸いです。



12/1
火

宮下区長会長から、前田理事長へ贈られました

令和3年 磯部地区区長会 ごあいさつ



区長会長 竹吉 瞳
(北横地3区)

磯部地区区長会長に選任されました北横地3区の竹吉 瞳でございます。昨年来、国内外で新型コロナの感染が拡大し、令和3年2月現在、流行の第3波がピークを過ぎつつあるように感じられます。磯部地区の皆様におかれましては、引き続き、感染予防に留意してお過ごしいただきたいと思います。

様々な行事が中止や縮小を余儀なくされ、地域の皆様相互の親睦等の機会が限られてきてはおりますが、皆様の「不安や不便を感じる」声に耳を傾け、行政や地域をはじめとする「安心につながる」情報を皆様にお伝えして参りたいと思います。

いたらぬ点も多々あるかと思いますが、皆様のご理解、ご協力を賜りながら、安全で安心な地域づくりに尽力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年の磯部地区区長のみなさまを紹介いたします。

(敬称略)

行政区	区長名
南横地1区	牧田 雄一郎
南横地2区	品谷 薫
南横地3区	大橋 渉
北横地1区	大崎 直昭
北横地2区	山形 光雄
北横地3区	竹吉 瞳
北横地4区	田谷 勝浩
四ツ屋	奥平 恭一
磯部新保1区	藤田 昌則
磯部新保2区	宮本 孝

行政区	区長名
羽崎	中垣内 秀信
九頭竜大橋	南代 増男
宇隨	三澤 正彦
磯部福庄	西田 健一
熊堂	木下 和憲
磯部島	木田 三男人
磯部島2区	長谷川 喜也
四郎丸	久保田 康廣
今市	前田 博文
南今市	酒井 祐之

行政区	区長名
反保	南元 明
八丁	奥村 啓司
上安田	薮 健治
安田新	川嶋 幹雄
下安田	西 富治雄
新九頭竜1区	多田 栄
新九頭竜2区	宮下 洋一
高柳3区	川端 茂良

2月3日に丸岡地区の初区長会が行われ、今年の磯部地区区長会役員が決定しました。
今年1年よろしくお願ひいたします。

会長 竹吉 瞳 (北横地3区)

副会長 木田 三男人 (磯部島)

副会長 藤田 昌則 (磯部新保1区)

